

(記入例)

施設長			
事務局長			

総合相談・支援機能強化事業 実施報告書兼えんくるり基金支払伺

平成 29年 9月 ○日()

対象者	※FAX送信時は必ず、仮名(アルファベット等)で報告 カガナ ○○ ○○ 氏名 ○○ ○○		施設・社協名	介護老人保健施設□□□
			相談・支援担当者氏名	△△ △△
紹介経路	母親が利用している○○デイサービスの職員から同法人内の本事業に連絡が入る。	相談者種別 ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> 母子・寡婦 <input type="checkbox"/> 身体障がい <input type="checkbox"/> 知的障がい <input type="checkbox"/> 精神障がい <input type="checkbox"/> DV <input type="checkbox"/> 虐待 <input type="checkbox"/> 多重債務 <input type="checkbox"/> 生活保護 (<input type="checkbox"/> 受給中 <input type="checkbox"/> 申請中) <input type="checkbox"/> 失業 <input type="checkbox"/> 傷病 <input type="checkbox"/> ホームレス <input checked="" type="checkbox"/> その他(緊急的な出費により生活費が不足)	
相談概要	梨農家の60代の男性。80代の母と2人で暮らしており、収入は母親の年金と農業収入のみ。(ただし、農業収入は、梨の収穫時期に限られるが、年収は300万円程度ある。) 現在、梨の収穫の真ただ中である。 収穫作業には軽トラックが必須だが、故障し突発的な修理費が発生した。修理費の支払いをしたところ、生活費の不足が生じている。 母親がデイサービスに通っているが、母親から「手持ち金がなく、しばらくデイサービスに行けない」と○○デイサービスの職員に連絡が入る。 状況を聞いたところ、食べるものはあるが、軽トラックのガソリンがなくなり、収穫作業ができていない状況を聞き取る。			
サポート会議等実施状況	実施日	平成29年 9月10日	連携機関	<input checked="" type="checkbox"/> 社協(□□町社協) <input checked="" type="checkbox"/> 社福法人(○○デイサービス、老人保健施設□□□) <input checked="" type="checkbox"/> 自立相談支援機関 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉事務所 <input type="checkbox"/> その他()
	支援方針	自立相談支援機関が中心となり、本人の年金繰り上げ受給に向けた支援を行う。軽トラックのガソリンを給油するため、えんくるり事業の現物給付を利用。		
経済援助理由	世帯の生計を考えると、梨の収穫は急務。えんくるり事業の現物給付によりガソリンを給油し、収穫作業を可能にする。 なお、月末には、先月出荷分の売上げが入金される予定。			
給付内容	支払先	☆☆ガソリンスタンド		<input type="checkbox"/> 食材 <input type="checkbox"/> 光熱水費 <input type="checkbox"/> 住居関係 <input type="checkbox"/> 日用品費 <input type="checkbox"/> 交通費 <input type="checkbox"/> 医療費 <input type="checkbox"/> 介護サービス費 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ガソリン)
	給付金額	2,600円		ガソリン 2,600円(@130×20ℓ)
支給決定日	平成 29年 9月 10日		支援日	平成 29年 9月 10日